

# 第四稿 帷子川（旧川を活用した緑道整備と市民協働による多自然川づくり）

帷子川は、旭区で生まれ横浜駅東口まで、横浜を西から東に流れる延長約17km、流域面積約57km<sup>2</sup>の2級河川です。

第四稿は、後編として、旧川を活用した緑道整備を中心に、帷子川の魅力的な自然環境を紹介していきます。

かたびら

## 1 帷子川親水緑道とは

帷子川は昔、水の流が速く、大きく蛇行していた(図A：緑線)ため、大雨が降ると浸水被害をもたらすことがしばしばありました。そこで帷子川を改修する工事では、蛇行をできるだけなくし、直線的な川に改修する計画(図A：青線)で実施してきました。

帷子川には、改修工事によって生まれた昔の川（旧川）と、周辺の豊かな自然を大切しながら創った魅力的な緑道があります。

相鉄線・鶴ヶ峰駅北口から歩いて3分ほどの場所にある「帷子川親水緑道」は、平成20年度に「都市景観大賞」（主催：「都市景観の日」実行委員会、後援：国土交通省）で「美しいまちなみ特別賞」を受賞しています。



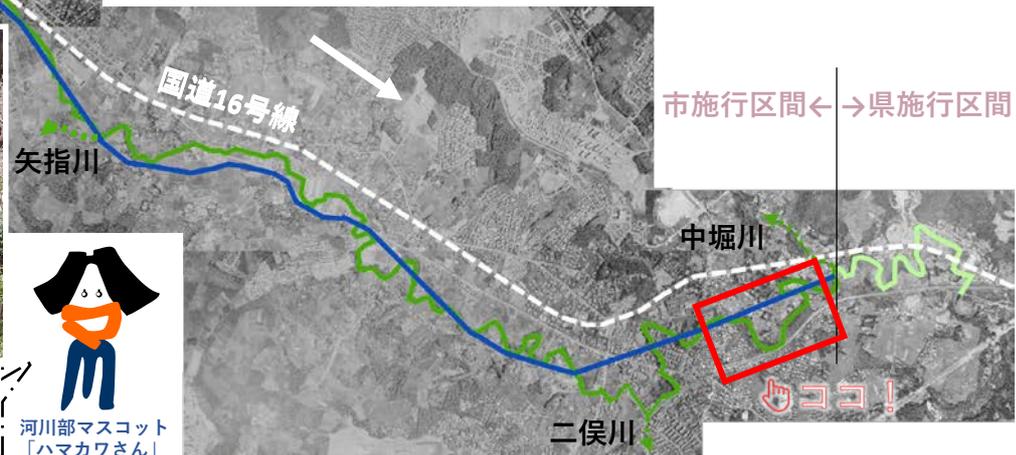
都市景観大賞受賞記念

## 2 帷子川親水緑道の案内図



A

1. 整備担当局	下水道局・緑政局・旭区
2. 施工年度	昭和58年度～昭和63年度 (1983年～1988年)
3. 区域面積	16,000m <sup>2</sup> (延長：600m)
1) 池・庭園	4,300m <sup>2</sup>
2) せせらぎ	10,300m <sup>2</sup> (延長：460m)
3) 広場	1,400m <sup>2</sup> (延長：95m)



こんな街中に、一体どんな自然があるんだろ～？



案内図

引用) A～B：国土地理院ウェブサイト (<https://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>) をもとに河川企画課作成  
その他の上記写真：河川企画課所蔵

### 3 帷子川親水緑道を探検！

帷子川親水緑道の整備前当時の写真と比較しながら、  
ゾーン毎に、自然豊かな緑道を探検してみましょう！



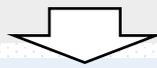
■池・庭園ゾーン → 池を中心とした遊歩道が整備され、あずまやからは庭園を一望することができます。



整備前の全景



池・整備中



小さな滝が流れ、風情があります



庭園の景色を見ながら、東屋で一休み

~ After ~



日本庭園のような味わいです



庭園を一望できるスポット！

■せせらぎゾーン →心地良いせせらぎを聞きながら、たくさんの生き物にも出会うことができます。

①



~ Before ~

整備前の上流部旧河道



~ After ~

せせらぎと園路の整備後：遊歩道/小川/竹林と並び、趣のある空間に



カモの家族が気持ちよさそうに遊泳

②



~ Before ~

整備前の中流部旧河道



カワセミ発見！



~ After ~

自然景観を保全した中流部河道

③



道中に、吊り橋が！



吊り橋の先には、野鳥の観察スポットがあります

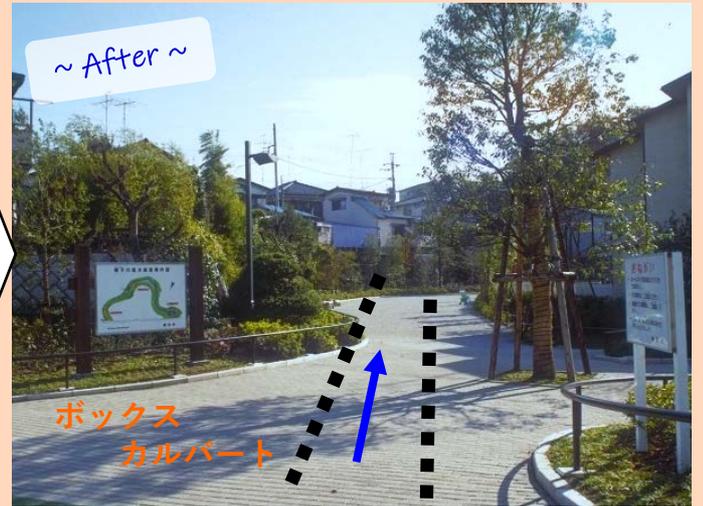


観察できる野鳥が載った図鑑が掲示されています

■ **広場ゾーン** → 旧川敷を広場として活用。ベンチもあり、旅の疲れを癒すことができます。



下流部整備前の旧河道



旅の終わりに...

## 4 市民協働による多自然川づくり！

平成28年から30年の3 年間で、「いい川づくり」を地域住民等と協働で考えるワーキングを計11回開催し、アユ等の生息環境改善に向けた整備手法の検討や、川の流れに変化を与える石積み工等を進めてきました。



ワーキング、フィールドワーク、石積み工等の様子



河川部マスコット  
「ハマカワさん」

帷子川では、抜本的な河川改修を進めてきた一方で、人々の憩いの場となるような空間の整備も進めてきたことが分かりました。そして時代が進んだ今も、市民の方々と行政が協働で行う新たな川づくりが始まっています。

次稿は、特別稿として、「ヨコハマの川～桜紀行～」で川の魅力を紹介します。